

## ■著者紹介

五十嵐 仁 (いがらし じん)

### 【略 歴】

1951年新潟県生まれ。東京都立大学経済学部卒業。法政大学大学院社会科学研究所博士課程単位取得満期退学。法政大学名誉教授。大原社会問題研究所名誉研究員。

### 【専 門】

政治学、戦後政治史、労働問題。

### 【著 書】

#### ・単 著

『一目でわかる小選挙区比例代表並立制——新しい選挙制度であなたの一票はどうなる』(労働旬報社、1993年)

『徹底検証 政治改革神話』(労働旬報社、1997年)

『政党政治と労働組合運動——戦後日本の到達点と二十一世紀への課題』(御茶の水書房、1998年)

『概説 現代政治——その動態と理論〔第3版〕』(法律文化社、1999年)

『戦後政治の実像——舞台裏で何が決められたのか』(小学館、2003年)

『現代日本政治——「知力革命」の時代』(八潮社、2004年)

『この目で見てきた世界のレイバー・アーカイヴス——地球一周：労働組合と労働資料館を訪ねる旅』(法律文化社、2004年)

『活憲——「特上の国」づくりをめざして』(績文堂・山吹書店、2005年)

『労働政策』(日本経済評論社、2008年)

『労働再規制——反転の構図を読みとく』(筑摩書房、2008年)

『対決 安倍政権——暴走阻止のために』(学習の友社、2015年)

『活路は共闘にあり——社会運動の力と「勝利の方程式」』(学習の友社、2017年)

『打倒安倍政権——9条改憲阻止のために』(学習の友社、2018年)

『日本を変える——「新しい政治」への展望』(学習の友社、2020年)

#### ・共・編著

『労働組合をつくりかえる——労働組合の選択』(労働旬報社、1988年)

『日本史史料5 現代』(岩波書店、1997年)

『日本20世紀館——The 20th century of Japan』(小学館、1999年)

『社会・労働運動大年表〔新版〕』(労働旬報社、1995年)

『現代日本社会論——戦後史から現在を読む30章』(労働旬報社、1996年)

『日本の労働組合100年』(旬報社、1999年)

『日本労働運動資料集成』(旬報社、2005～2007年)

『「戦後革新勢力」の源流——占領前期政治・社会運動史論1945-1948』(大月書店、2007年)

『社会労働大事典』(旬報社、2011年)

『「戦後革新勢力」の奔流——占領後期政治・社会運動史論1948-1950』(大月書店、2011年)  
教育科学研究会編/中田康彦・佐貫浩・佐藤広美編著『大阪「教育改革」が問う教育と民主主義』(かもがわ出版、2012年)

『テレビはなぜおかしくなったのか』(高文研、2013年)

『憲法九条の新たな危機に抗して 第二次安倍政権——政治の右傾化と集団的自衛権』(9条の会ブックレット、2013年)

西谷敏・五十嵐仁・和田肇・田端博邦・野田進・萬井隆令・脇田滋・深谷信夫『日本の雇用が危ない——安倍政権「労働規制緩和」批判』(旬報社、2014年)

三階康子・寺脇洋子編『外堀の青春——法大「マル研」と安保闘争の仲間たち』(桐書房、2015年)

五十嵐仁・木下真志編/法政大学大原社会問題研究所編『日本社会党・総評の軌跡と内実——20人のオーラル・ヒストリー』(旬報社、2019年)

### 【個人ブログ】

『五十嵐仁の転成仁語』<http://igajin.blog.so-net.ne.jp/> を発信中。